

世界の観光行政官らが 山梨で観光振興を学ぶ

JICA東京では、日本で観光マーケティングや観光客誘致の手法を学ぶことを目的とした研修を実施しており、開発途上国から観光行政官を受け入れています。

今回は下記日程において山梨県を訪問しますので、是非取材をご検討ください。

開発途上国では、外貨獲得や雇用創出、地域開発の観点から観光客の誘致に取り組む国が多くあります。日本では、観光地域づくりに取り組むDMOが観光庁の主導において組織される流れにあり、地域開発や観光資源開発の事例研究のため、視察に訪れます。



前回の研修風景【丸の内観光案内所視察】

<取材可能日時・場所>

6月22日(木)

11:30~14:00/古民家での農村文化体験(囲炉裏料理、水田管理体験):農家体験民宿なかやにて
16:00~19:00/八ヶ岳観光圏およびDMOとしての取組み(講義、意見交換)
:八ヶ岳グレイスホテルにて

6月23日(金)

9:30~12:00/観光資源体験:八ヶ岳アウトドアアクティビティーズにて

※取材をご検討いただける場合、事前に下記連絡先までご一報いただければ幸いです。

<研修概要>

研修コース名:観光振興とマーケティング

研修期間:2017年6月7日~2017年7月12日

<参加者>

ベリーズ、カンボジア、パプアニューギニア、東ティモール、エクアドル、ミクロネシア、スリランカ、タイの観光行政関係者12名

※当日は、研修監理員が同行し、通訳(英語-日本語)を行います。

【本件に関する問い合わせ・連絡先】

◆当日の取材について

JICA 東京 産業開発・公共政策課 山田 愛 TEL 03-3485-7630